

# 第21期 事業報告

(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

## 1 株式会社の現況に関する事項

### 1-1 事業の経過及び成果

平成28年度までの4年間の京都市との京都市勧業館指定管理者協定期間の1年目となる今期は、指定管理者の公募選定で提案した経営計画、事業計画を着実に実施するため、企業力のステップアップを目標に取り組んできました。法人に対し関西電力の電気料が3割近く値上げされるなど施設運営は厳しいものとなっておりますが、当社はこれまでに培ってきた管理運営のノウハウを活かし、施設のグレードを向上させてきました。このような状況のなか、当社の25年度会社全体の売上高は、昨年度を若干上回る結果となりました。勧業館の稼働率が昨年度を上回ったこと、京都会館の閉館や天候不順等の厳しい状況下にありながらも物販が好調だったこと等により、昨年度に比べて18,444千円増の818,986千円となりました。

当社の主要事業である勧業館事業については、かねてからの「多目的に利用できる施設だと知ってもらう」取組の成果が出始め、その認識が利用者の方々にも浸透しつつあると実感しています。展示会、見本市はもちろんのこと、国際規模の学会、大学入学試験、入学式及び卒業式、企業の周年事業、アニメフェアなど多様な利用に応えられる施設として、また、催事運営面でのサポート体制の充実した施設として利用者満足度の向上を図ってきました。今期は、大規模な新規催事のご利用はありませんでしたが、中規模の新規催事のご利用が好調だったため、稼働率は昨年度実績47.43%を1.7%上回る49.13%となり、駐車場等を含む施設利用料収入は、昨年度に比べ13,693千円増となる554,728千円となりました。

京都伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ事業についても、京都会館の閉館の影響を受けながらも、国内外からの一般観光客の方々のお買上げが好調で、商品売上は昨年度を6%近く上回る46,447千円となりました。

今期注力した自主企画事業については、伝統産業の日の協賛事業「京ものフェスティバル」等、恒例となった事業を確実に実施したほか、新たに家族で参加できる催し「みやこめっせサマーフェスタ」を実施し、当社に止まらず、勧業館に係わる事業者が一丸となってその運営にあたり、大勢の市民の方々にご来館いただきました。しかし、秋にかけては天候の不順に見舞われ、官民共同で岡崎地域の活性化を目指し、当社が構成団体の一員として活動している「京都岡崎魅力づくり推進協議会」主催の「あかりとアートのプロムナード;岡崎ときあかり」が、台風の影響で中止となったことは、大変残念なことでした。

京都館事業については、今期首都圏が夏季は台風の襲来をはじめとする大雨、冬季は数十年振りの大雪という天候不順に見舞われる厳しい状況だったにもかかわらず、商品売上高はわずかながらも昨年度を上回る142,404千円を確保することができました。魅力あるイベントを企画し、メディアへの露出機会が増えたことがその一因と考えます。

費用面では、引き続き経費の削減に取り組む一方、指定管理者として年間100万人を超える来館者の安全確保はもとより、勸業館をご利用いただく方々の満足度を向上させるため、施設の修繕、備品の充実に取り組み、今期はすべての会議室のいすを新調いたしました。軽くなり使い易くなったと利用者からも好評を得ています。大掛かりな修繕は実施しませんでした。電気料の値上げにより水道光熱費が昨年度より13,000千円近く増加したため、販売費及び一般管理費は増加いたしました。

以上のことから、今期は、売上総利益は増加したものの、それを上回る販売費及び一般管理費の増加により昨年度よりも営業利益及び経常利益が若干減少するという結果となりました。今期の税引前当期純利益についても、昨年度を9,261千円下回る32,659千円となりました。

#### 1-2 直前三事業年度の財産及び損益の状況

区 分	第18期	第19期	第20期	第21期 (当事業年度)
売上高	772,319 千円	821,692 千円	800,542 千円	818,986 千円
当期純利益	22,554 千円	18,819 千円	23,964 千円	21,460 千円
一株当たり当期純利益	12,530 円 11 銭	10,455 円 51 銭	13,313 円 74 銭	11,922 円 37 銭
純資産	356,881 千円	375,701 千円	399,666 千円	421,126 千円

#### 1-3 当該事業年度における主要な事業内容

当社が現在行っている事業の主なものは、次のとおりです。

##### (1)勸業館事業

展示場及びその付随施設、会議室、ギャラリーの貸出、展示会の企画運営サービス、駐車場管理

##### (2)京都伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ事業(「京紫苑」の運営)

伝統工芸品の販売

##### (3)自主企画事業

岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり連携事業(岡崎魅力づくり推進協議会事業)、みやこめっせサマーフェスタ、伝統産業の日 in みやこめっせ協賛事業・京ものフェスティバル等の実施

##### (4)京都館事業

京都市受託事業の実施(京都館の運営、イベントの実施、京都情報の発信等)、京都産品の販売

#### 1-4 当該事業年度の末日における主要な営業所及び使用人の状況

##### (1)主要な営業所

本店 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

東京支店 東京都中央区八重洲二丁目1番1号 ヤンマー東京ビル1F

##### (2)使用人の状況

従業員数（うち、臨時社員数）	前事業年度末比増減
38人（17人）	2人増

(注)従業員数には、臨時社員を含んでいます。

## 2 株式に関する事項

### (1)株式数

①発行可能株式総数	4,000株
②発行済株式の総数	1,800株
③当事業年度末の株主数	9名

### (2)株主及びその持株数

株主名	持株数	持株比率
京都市	1,080株	60.0%
京都府	100	5.6
京都商工会議所	100	5.6
公益財団法人京都伝統産業交流センター	100	5.6
公益社団法人日本図案家協会	100	5.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	90	5.0
株式会社京都銀行	90	5.0
京都信用金庫	80	4.4
京都中央信用金庫	60	3.3
合計	1,800	100.0